# 滅びゆく湿地帯植物

## ―土地改良事業の普及で―

### せめて写真標本に――

### 新潟南高 池上教官が悲痛な叫び

○…戦後土地改良事業の普及につれ、県下の沼沼と湿地帯は続々と姿を消し、磯…○

○…潟、福島潟の干拓計画で越後平野の地図はいま大きく塗りかえられつつあるが、…○

○…一方貴重な学問的資料である種々の湿地帯植物も滅びゆく沼沼と運命を共にし、…○

○…同平野生い立ちの神秘の扉を開く鍵とも見られるこれらの植物も「三年後には…○

○…絶滅してしまうと学界で惜べ、たきりかえた一研究家がそれらの記録、撮影、標…○

○…本などの採集に近くのり出すことになった。…○

この湿地帯植物の滅びを嘆いている研究家は県立新潟南高校生物教官池上敬信氏で、せんたい（ヒガ）類の標本蒐集、分類研究家として学界でも著名な人。

同氏の調査によれば島野潟、福島潟、北蒲原郡寺村、岩船郡町付近の湿地には地質時代から存在している植物で、分布上貴重な植類が数種残っていたが、最近開墾、排水機設置などのためすでに絶滅したり、絶滅しかけているという。その代表的なものにはツルスゲ、ムジナスゲ＝島屋野潟にわずかばかり見受けられたが県ノ木川排水機が出来てから絶滅。北方系のもので標大、北海道のほかにはここ一か所にしか存在しなかった。ツルアブラガヤ＝福島潟になお五百本位残っている、大陸系の植物で、本邦にはこゝしかない。ベシクルモン（一名ホしよう草）＝北蒲松塚村、西蒲間瀬村、浦浜村などの海岸に見られる北方系の植物本邦以南には見られない。この植物の代表的なものにはツルスゲ、ムジナスゲ＝島屋野潟にわずかばかり見受けられたが県ノ木川排水機が出来てから絶滅。北方系のもので標大、北海道のほかにはここ一か所にしか存在しなかった。ツルアブラガヤ＝福島潟になお五百本位残っている、大陸系の植物で、本邦にはこゝしかない。ベシクルモン（一名ホしよう草）＝北蒲松塚村、西蒲間瀬村、浦浜村などの海岸に見られる北方系の植物本邦以南には見られない。この植物の代表的なものにはツルスゲ、

産業経済新聞 昭二九・九・二一

産業経済新聞
1954年（昭29）9月21日

入れる有力な手がかりだというので、その絶滅を惜しんだ同氏は学問上せめて写真、標本に保存し、記録を留めたいと近く福島潟へ採集旁々生態観察に決意を固めている。

△県文化財審議委員、真保一郎氏の話＝学問上貴重な資料です。なんらかの形で記録を残しておきたいものです。

## 池上先生、ありがとうございました

浅見　賢

あれは確か、飯豊山調査で湯ノ平小屋へ下りるときだったと思う。たまたま、雨に濡れたテントを担いで行くことになった。幾度かの飯豊山調査に加わったが、テントを担いだことはなかった。いつも他人任せだった。下りの急勾配で曲がるときに、樹木につかまりくるっとまわり、ぽんと降りた。ザックの上にくくりつけたテントが振られる。と身体も振られる。たまたま近くに居られた池上先生が、小生より大きく、重いと思われるザックを担いで一歩一歩確実に下って居られる。「下りの方が危ないから、気をつけて」と。さらに続けて「ブナ、ナラのこと、お願いしますよ」と。一瞬、肩に食い込むテントの重さを忘れた。暑いのに冷や汗が…。疲れて到着した湯ノ平小屋では、宴の準備が整えられていた。迎えに来てくれた会員の方々がしつらえてくれていた。いつも以上にその夜の勉強会は盛況だった。酔い覚ましに外に出てあたりを眺めまわしたとき、小生の頭の中はブナ、ナラのことで一杯だった。でも…、結局まとめられなかった。発展はなかった。たくさんの貴重な資料がありながら…。

それより以前、池上先生には、「じねんじょ会」発足すぐの頃、三川村の植物リストを作るときにご指導を受けた。原稿をお送りしてしばらくして、新潟南高校にお伺いしたとき、学校の仕事、先生ご自身の研究などで、大変お忙しいにもかかわらず、あちこちの多くの、古い資料なども調べてくださり、リストの補充や誤字は勿論、漢字の使い方まで細部に渡って丁寧に指導して戴いた。本当にありがたかった。あれ以後、仕事上のことでも何でも文章を書くときは、いつもそれを思い出しながら書いてきた。池上先生、本当にお世話になりました。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。